

ン観測用具も備えられています。サイデロスタットにはプリンストン大学の故ピーヤス博士の遺志を継いでブリッツスタイン博士が完成した、かなり大規模でこんでいるデザインの、パルスカウント式の二連操作作用光電器が設置されています。これは観測者が野外の空気とは、壁でさえざられているようにできていますので、冬にはあまり寒気に苦勞しなくてもよいから、反射鏡での観測者からはウラムともナゲキともつかぬ叫声を聞かされるのが度々ですが、その代りファインダーがついていないので、視野のウンと狭い主鏡で直接星探しをせねばならず初歩者には一方ニガテのシロモノでもあります。先だって米国のスカイアンドテレスコープにも紹介されましたごとく、ニュージーランドへ当大学に死蔵されていた46糎屈折鏡を選び、南天の食連星観測をやるとういうことが積極的に推進され、二年間にわたるサイトテストングも済み、近いうちに当天文台の出張観測所が完成することになっています。この計画が終われば、102糎反射鏡を建立するんだとのワード博士の意気込みで、もはやガラス材は手に入れており、博士の建設力と敏腕には、ただサスガとうなる外はありません。学校本部には故ピーヤス博士から受け継いだ、全食変光星のカードカタログがあり、各星に関する文献と光度極小時データ及び星自身の特性等々の記録が Up-to-date に網羅してあり、鉄のカーテン外にある唯一の食変光星センターとして、自他共に許しているといつてよいでしょう。アマチュア、

専門家を問わず、誰にでも食変光星に関する問い合わせがあれば、気軽にそれも詳細なインフォメーションを提供しますから、日本の皆さんもよく利用されればよいでしょう。宛先は米国フィラデルフィア市ペンシルバニア大学天文学部 F.B. Wood 博士とすればよろしい。大学院学生として日本からは、近藤さんという美青年が星にツカレタごとく猛烈に勉強しています。この学部は国際色の強いのも特徴で、かつては教授大学院学生総数 18 名の中にはアメリカ、インド、オランダ、ドイツ、ポーランド、ユーゴスラビア、チェコスロバキア、イギリス、韓国、日本、中国出身が入りまじってなかなかの盛況でした。何とかの機会にムードに乗り自分等の母国語を話し始めたら、もうチンプンカンプンです。これもワード博士の、天文学は国際的な交流が有機的に行なわれればこそ一層発展するという所信の一端を表わすものでしょう。この頃の宇宙ブームに乗っての理由かは知らないけれども、毎年天文学志望の願書が定員の数倍以上に殺到しますので、部ではウレシイ悲鳴を上げています。昨年政府から 30 万ドルの援助資金を得、教室や教授学生室の画期的な拡張をすることになっています。これがなればアメリカは勿論世界でも有数の大天文学部となることでしょう。以上いろいろと雑多なことを書きならべましたが、当天文台の活動相を日本の皆さんに紹介しますのに少しで役に立ったのなら嬉しく思います。

各地の皆既日食の概況

さる7月21日の日食は、わが国では北海道の一部で日の出直後に皆既になるというような状況であったために、直接太陽に関連する現象の研究のためには、良い条件ではなかった。しかし当分国内では皆既日食は見られないので、各研究機関からはかなり多くの観測班が、皆既帯の中へ出かけてゆき、また熱心な多くのアマチュア諸君や、観光をかねた一般社会人で、当日皆既を見ようとした人はおそらく1万人にのぼったのではないかと思う。

その頃の北海道の気象状況は、日食前々日までは各地とも曇又は雨が多く、青空を見るのが少なかった。前日の20日は、高気圧の中央部に入り、この日早朝は各地で快晴の日の出を見ることができた。観測隊は快調なりハーサルを行なうことができたことと思う。

皆既の当日の21日は、高気圧はすでに移動して天候はくずれはじめ、皆既の時刻に晴れるか曇るかは、全くくじ引をするような、当りはずれの多い天候と変わった。

各地の晴曇の概略状況は次の通りである。

知床半島——半島突端部；一部の場所で雲の切れ間あり、羅臼付近；曇、羅臼岳；曇なし

小清水——曇

網走——曇切れ皆既見えた

美幌——曇あり

樽前山——曇あり

飛行機で5000m以上に昇った観測班や、報道関係者は、雲のない空で皆既が見られた。

なお部分食が見られるはずの旭川、札幌、東京は曇天であった。

皆既帯の中に器械を設置した主な観測班は次の通りである。

水沢緯度観測所——網走市台町

東京天文台分光部——網走地方気象台

// 測光部——千歳南方の樽前山8合目

// ——ビーチクラフト機で5300mの上空(表紙写真参照)

- 海上保安庁水路部——網走市台町
- 京大花山天文台——美幌
- 京大生駒山観測所——羅臼岳および羅臼
- 防衛大学校電気科——美幌
- 旭川天文台、旭川天文同好会——浜小清水
- 札幌天文台、札幌天文同好会——知床岬、羅臼岳、網走南高校、美幌高野台に4班
- 仙台天文台——網走付近および羅臼岳
- 諏訪天文同好会——知床岬と美幌
- 生駒山天文協会——羅臼

以上の外、交通公社が主催する日食観測団や旭川や釧路鉄道局が主催する日食列車、地元の船会社の日食観光船などに参加した多くの人達があり、また学校天文部の人達も少なくなかった。筆者の聞き及んだものだけでも東京成蹊学園、理科大、京都学芸大、東京豊多摩高校、白鷗高校、京都鴨祈高校などがある。実際にはまだまだ多数の学校の天文部や同好グループが参加されたことと思う。

筆者は知床半島の羅臼から約 15 km 東北のケンネベツで当日朝を迎えたが、ここは曇であった。

来月号に主な観測班の状況を、実際関係者の方々から報告していただきますが、会員諸君で皆既帯に行かれた方は、状況の報告や写真を編集係宛お送り下さるようお願いいたします。(下保)

秋季年会のおしらせ

1963 年度の秋季年会を下記により開催いたします。会員諸氏の御参加をお待ちいたします。

日 時：1963 年 10 月 11 日(金) 12 日(土)
場 所：仙台市東北大学理学部

予稿集は、特別会員には一部を無料で差上げます。二部以上御入用の方、又は通常会員で御希望の方は一部につき実費 60 円(送料共)をそえてお申込下さい。

なお、年会々場にもおわちいたします。

東京都三鷹市大沢東京天文台内
社団法人 日本天文学会
振替口座 13595 番
電話 武蔵野 0422-3-6151

新発売!!



普及型 10センチ 反射望遠鏡 (経緯台)


※口径 100 ミリ ※焦点距離 900 ミリ ※倍率 72 倍 ※アイピース 12.5 ミリ 1 個 ※接眼部ラックピニオン付、上下微動装置完備 ※木製三脚 ※水平微動付 3,000 円増

- 超特価 18,500 円 円 1,500 円
 ファイナダー付(口径30ミリ6倍) 2,400円増
- 8cm簡易赤道儀 特価9,800円 円1,000円

皆様の工作室「清原光学」が、すばらしい新型を発売しました。性能価格共に絶対に他社の追随を許しません。光学部品は標準型と同じですから最高の見えの良さを保証いたします。その他、自作用部品もありますからご相談下さい。

(切手 10 円 2 枚同封)

東京都新宿区東大久保2~271 振替東京8643
清原光学研究所



カンコー天体反射望遠鏡



二十種CG式焦点距離二段切換
天体反射望遠鏡

- ★ 天体望遠鏡完成品各種
- ★ 高級自作用部品
- ★ 拋物面鏡、平面鏡、軸外し拋物面鏡
- ★ アルミニウム鍍金
- ★ 電源不要観光望遠鏡(カタログ要 30 円切手)

関西光学研究所
京都市東山区山科竹鼻 TEL 京都 05 0057

昭和 38 年 8 月 20 日	編集兼発行人 東京都三鷹市東京天文台内	広 瀬 秀 雄
印刷発行	印刷所 東京都港区芝南佐久間町一ノ五三	笠井出版印刷社
定価 70 円(送料 6 円)	発行所 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
地方売価 75 円		振替口座東京 13595